

# 研究者の数だけ悩みや不安は存在するはずです。 自分の思いに合ったメニューをじっくり探してください。

支援制度  
一覧はこちら



vol.2

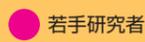
## ■研究者支援メニュー



学部生



大学院生



若手研究者

目的	支援制度名	支援母体	年齢制限・応募資格 支援人数(支援件数)	支援内容	
徳島大学の 人材育成 (博士課程学生)	学際的 次世代研究者 育成プログラム	大学フェロースHIP創設事業 ひかりフェロースHIP	徳島大学	8名程度/医光融合分野	・研究専念支援金と研究活動経費として220万円/年支給 ・産学連携人材育成プログラム提供
		次世代研究者挑戦的研究プログラム うずしおプロジェクト	徳島大学	7名程度/異分野融合	・研究奨励費と研究活動経費として220万円/年支給 ・産学連携人材育成プログラム提供
		入学科・授業料の免除と徴収猶予	徳島大学	—	全額又は半額を免除もしくは徴収猶予
		徳島大学奨学金(徳島大学ゆめ奨学金、 アスパイア奨学金、徳島大学修学支援事業基金)	徳島大学	—	入学金、授業料、留学費用の一部など
	日本学生支援機構奨学金	日本学生 支援機構	—	給付奨学金、貸与奨学金、海外留学のための貸与奨学金	
徳島大学の 人材育成 (若手研究者)	テニユアトラック教員育成支援制度(T <sup>3</sup> 支援)		徳島大学	概ね40歳未満、3名	スタートアップ経費(最大200万円、初年度のみ)を支給
	若手研究者学長表彰制度		徳島大学	40歳未満、5名程度	研究支援経費100万円を支給
	産学連携研究者育成支援事業(若手研究者育成支援)		徳島大学	45歳以下かつ博士学位取得後8年未満、8件程度	50万円以内
	がん関連基礎研究		徳島大学	本学所属の研究者	300万円以内
	JTEKT-Tokushima Univ. Research Project(JTRP)		徳島大学	本学所属の研究者、2~3件程度	300万円以内
国際 研究力の 強化	地方協奏による世界トップクラスの 研究者育成(HIRAKU-Global)		徳島大学	概ね40歳未満、1名	・スタートアップ研究費(最大200万円) ・海外中長期派遣支援(最大200万円) ・研究者能力開発支援、複数メンターによる支援など
	テクノオン-イスラエル工科大学との若手研究者交流事業		徳島大学	博士の学位取得後5年以内の者で、日本 国籍を有する者 ※博士後期課程、博士課程の院生は 対象となる可能性有	人材交流事業
AWA サポートセンター の取り組み	女性研究者共同研究プロジェクト		徳島大学	徳島大学に所属する常勤の女性研究者	研究支援費50万円以内/年を支給 *R5年度実績
	復帰・復職支援スタートアップ研究助成		徳島大学	研究中断から3年以内に産前産後休業、育児休業 及び介護休業から復帰した本学に所属する研究者	1件30万円以内(消耗品費) *R5年度実績
	育児・介護支援制度		徳島大学	徳島大学に所属する研究者 (あゆみの森保育園は学生も対象)	・育児や介護のための、特別休暇 ・育児/介護休業・短時間勤務など ・子育て支援のため、蔵本キャンパスに「あゆみの森保育園」を開設
	ワークライフバランス		徳島大学	徳島大学に所属する研究者・学生	・ベビーシッター ・病児・病後時保育または緊急保育制度 ・女性職員休憩室や子育て支援スペース ・男性育児・家事推進セミナー、介護セミナー等の開催
研究成果の 社会への発信	発明相談・特許相談		徳島大学	徳島大学に所属する研究者・学生	発明や特許に関する相談
	起業・ベンチャー支援(徳島大学発ベンチャー認定制度)		徳島大学	徳島大学の研究者が学生が所有する 知的財産権を基に設立した企業	学内施設の貸与、研究設備の利用、HPでの広報活動
	学術論文剽窃検知ソフト		徳島大学	徳島大学に所属する研究者・学生	iThenticate(アイセンチケイト)の利用権の提供
	学術論文の英文校正料の一部助成		徳島大学	徳島大学に所属する研究者	投稿論文の第一著者または責任著者による申請 ※原則上位1%のジャーナルへ投稿
省庁競争的 資金の活用	科学研究費 助成事業	学術変革領域研究(B)	JSPS	45歳以下の研究者による 少数・小規模の研究グループ	5,000万円以下/年度を支給
		若手研究	JSPS	博士の学位取得後8年未満の研究者	500万円以下/年度を支給
		研究活動スタート支援	JSPS	研究機関に採用されたばかりの研究者や 育児休業から復帰する研究者	150万円以下/年度を支給
		「基盤研究(C)」及び「若手研究」における 独立基盤形成支援(試行)	JSPS	「基盤研究(C)」又は「若手研究」の研究代表者 として新規に採択された者のうち、大学又は 大学共同利用機関法人に所属し、新たに准教授 以上の職位に就いて2年以内かつ公算年の4月 1日現在で博士の学位取得後15年以下の者 (産前・産後の休暇、育児休業の期間を除く)で あって、所属する研究機関において研究室を 主宰している研究者	300万円以上を支給 ※研究基盤整備(I)は科研費より、研究基盤整備(II)は 本学より支給
	科学研究費助成事業 特別研究員奨励費	特別研究員(DC・PD・RPD・CPD)	JSPS	日本学術振興会特別研究員 (DC・PD・RPD・CPD)個人	DC月額200,000円、PD月額362,000円など
		外国人特別研究員(一般)	JSPS	日本学術振興会外国人特別研究員の受入研究者	渡航費、滞在費月額362,000円、渡日一時金200,000円など
	戦略的創造研究推進事業(ACT-X)		JST	博士学位取得後8年以内	数百万円程度/課題
	創発的研究支援事業		JST	大学等における独立した/独立が見込まれる 研究者 ※博士号取得後15年以内(育児・出産・介護等 ライフイベントへは別途配慮)	700万円/年(平均)+間接経費 総額5,000万(上限)、そのうちフェーズ1での 総額は2,000万円 ※途中ステージゲート審査あり
官民による若手研究者発掘支援事業		NEDO	45歳未満	テーマあたり1,000~3,000万円/年	